

奈の良

十津川村

第12号

心身再生の郷

十津川温泉「ホテル「昴」」への取材

開業 30 周年を迎えたこのホテルは、中国古代思想家孔子が曰く「三十而立」（三十にして立つ）であります。ホテルの名前の由来：古来よりこの地方では豊かな峰々の連なりを「すばる」と呼び、このホテルはその山並みをイメージしてつくられました。

ホテルの温泉の特徴について：

☆ 「昴」の温泉十津川温泉は日本で初めて源泉かけ流し宣言を行った十津川温泉郷の中の温泉地の一つで、正真正銘の良質な温泉が自慢です。（源泉 100% かけ流しとは、加温加水循環をしていないことを意味します）。源泉 100% 掛流し・加温加水循環無し

☆ 泉質はナトリウム炭酸水素塩泉で、肩こり、首が痛い方に特に効果があるとのこと。

☆ 露天風呂には寝湯が設置されているので、温泉の中で横になりながら星空を眺めることができます。

☆ 過去 5 年間で、外国人観光客は約 6 倍に増加したとのこと。スムーズにコミュニケーション出来るよう、ポケットクという通訳機が導入されています。



ホテル「昴」の温泉プール

毎年 8 月中旬には、ホテル前の広場で村内の 4 つの踊り保存会が集まり大踊りを披露する「ふれあい物語」という夏祭りイベントが行われます。奈良女子大学の武藤康弘教授のお言葉をお借りすると、「十津川村の大踊りは、近世の風流踊りの特徴を良く伝えていることで、昭和五十四年に国の重要無形民俗文化財に指定されている。」と高く評価されます。

出典：『大学的奈良ガイド』2009 年 4 月昭和堂 武藤康弘



ホテル「昴」の露天風呂の一つ



ホテル「昴」の支配人三浦さんと筆者（ホテル玄関前）

ホテル「昴」から読者へのメッセージ：

本物の温泉・素晴らしい温泉を楽しんでください。

十津川村役場産業課（観光グループ）の沼平係長への取材

Q: 十津川村の観光にとって、一番困った深刻な問題は何ですか？

A: 観光客にとって、交通の便が悪いことではないかと思います。

Q: 十津川村役場として、今までどのような対策をしましたか？

A: 今まで実行した対策と言え、平成 26 年度から平成 30 年度まで路線バスキャッシュバックキャンペーンを実施しました。キャンペーン期間中は、路線バスに乗りし村内の対象施設に宿泊すると往復のバス代が無料となるため、閑散期となる冬のお客が増えました。

Q: 今後どのような対策を考えられていますか？

A: 今後の対策は、大阪府泉南市及び和歌山県田辺市と連携を図り、観光プロモーションを実施します。関西空港からの広域的な誘客促進を図っています。また、ハイキングをされる観光客の利便性を向上させるために民泊業者を増やし、宿泊施設のトイレの洋式化や WI-FI 整備補助、自動翻訳機購入費補助等様々な補助事業を展開中です。

玉置神社

標高 1000 m 超に位置する玉置神社は大変古い歴史をもち、交通が不便であるにもかかわらず、年末年始に限らず年間を通して日本各地から非常に多くの方が参拝に来られるそうです。最初は不思議だと思いましたが、実際に訪れてみて、私も「なるほど」と納得出来ました。玉置神社の周辺には、樹齢 3000 年超の奈良県最大の杉「神代杉」をはじめとして、巨杉が沢山あり、古い歴史に圧倒されます。

歴史の年輪は人々の心をも癒すことができるのではないのでしょうか？



地元の振興を支える人々



沼平さんと筆者

(平成16年に建てられた「世界遺産」石碑にて)

風景は綺麗ですが、交通が不便な
ところに住んでいる方は
どう考えているか
興味を持ったので、



在住者四名の声を聴きました。



果無集落に住んでいる岩本さん

(写真提供：十津川村役場)

////////////////////////////////////
★果無集落には、現在約10世帯が生活しています。全国には美しい

風景がある一方で、車が無いと生活には不便なところが多いそうです。ですが、果無集落は、地元の方が、訪れた人の不便さを減らすよう、優しく工夫してくださっています。例えば、集落にお住まいのある方のご自宅の前を通った時、家の前を歩く人達のため開放されている休憩スペースを見つけました。驚きとともに、これ以上のおもてなしの心はないと大変感動しました。



★ホテル昴の支配人である三浦さんは、豊富な経験を持っているホテルマンとして、十津川村の地域振興に力を捧げていらっしゃいます。

右記はホテル昴のQR-CORDです。➡



★案内して下さった十津川村役場の職員の沼平さんは、京都の大学を卒業後、故郷である十津川村に戻って就職されました。



賑やかな都会から十津川村に戻られたこの方の後ろ姿を見て感心しました。地元を愛するこうした方々のおかげで、十津川村の緑は永遠に続いていくだろうと確信しています。



十津川村の朝



「小辺路」にて



★農家民宿「山本」の営業者である中南ご夫婦は
とても印象深かったです。

観光客の私は、道を通る蛇を見ただけで怖くてたまらなかったのですが、奥さんの中南さんによると、日常生活で鹿、兎、猿、熊も見かけるそうです。田園風景に憧れる人が多いと思いますが、美しい風景と共に、生活面の不便さ・大変さも想像できるでしょう。8年前の紀伊半島大水害の様子を聞くと、災害により、停電断水になり、交通が寸断され、携帯電話の通信が出来なくなったそうです。しかし、今こうして復旧し、観光客へ素晴らしい宿泊を提供していることに大変感動しました。



中南さんの笑顔は私にとって
忘れられない思い出になりました。

呉 春蘭

秘境の十津川村

VOYAGER HORS DES SENTIERS BATTUS À TOTSUKAWA

フランス語でこういう表現があります：Voyager hors des sentiers battus「踏みならされた道を離れて、旅に出る」。大勢の観光客が行くところを離れて、穴場を訪れるという意味です。

今回は奈良県の有名な観光地の道を離れて、「秘境」と呼ばれている自然豊かな十津川村と一緒に旅に出ませんか？十津川村の人々と会うため、そして彼らの生活を知るため、農家民宿に一泊しました。翌日は、十津川村に移住した若者が運営するKIRIDASという木工品を製造、販売する場所を取材しました。

農家民宿「山本」 Farm-inn Yamamoto

日本の美しい自然の中で、美味しい日本食をいただきながら地元の人と交流できる農家民泊を体験しました。



大自然に囲まれた築100年以上の日本家屋に着いたら、水車の音が耳に入り、1日の疲れを忘れて清々しく感じました。

農家民宿「山本」を運営している中南ご夫妻の歓待を受けてから、部屋に案内いただきました。今回はふた部屋に分かれた離れに泊まりました。ひと部屋はベッドがあり、もうひと部屋は布団です。浴衣とタオルも用意されています。離れには最新式のウォシュレット付きのトイレもあり、快適です。本屋にあるお風呂もきれいです。お風呂の使い方についての説明が英語で表示されているので、外国の方も不安なく利用できます。

部屋に荷物を置いてから、居間に移動して、女将さんの美味しい家庭料理を頂きました。

自家栽培した野菜がたっぷりの和食でした。そして、柚べしという柚子を用いた保存食を始めて味わいました。野菜の天ぷらもあまごも素麺もとても美味しく、今まで味わったことない風情がある食事でした。

グリーンツーリズムとは？

農村で余暇を過ごして、現地の人の生活や活動を体験できる滞在型ツーリズムのことです。増加している訪日観光客の新しいニーズに応じるとともに、農山漁村の活性化の対策のひとつとなっており、ヨーロッパでは普及しているスタイルです。今回は、グリーンツーリズムを通して、十津川村の2つの場所を紹介したいと思います。

夕食の後、中南ご夫妻とゆっくりお話させていただきました。ご夫妻は、11年前、町の子供が農業体験できる「子ども農山漁村交流プロジェクト」の一施設として民泊を始めました。当時は人気あったプロジェクトでしたが、プロジェクトへの国の助成制度がなくなったこと、また、世界遺産を歩く観光客が増えてきたことから、観光客向けの農家民宿にシフトされたとのこと。現在は主に熊野古道を歩く人を迎える宿として、宿泊者の半分は日本人、半分は外国人です。去年に比べると、客数は2倍以上増えたとのこと。外国人の中でも、欧米豪の観光客が多いそうです。外国人とどうやってコミュニケーションされているのかを聞いたら、最近まではスマートフォンとジェスチャーのみで理解されていた、とご夫妻。そして3日前に購入したばかりの通訳機を見せてくれました。スマートフォンより長い内容、数多くの言語で通訳できる機械です。実際にやってみて、フランス語から日本語へ正確に通訳できました。とても便利なので、日本語が話せない方も、安心です。ご夫妻は、世界中のお客さんからもらったお土産を見せてくれました。そのお土産を見たら、十津川村の中南家と様々な国の人の



絆が伝わってきました。

翌朝、美味しい朝食をいただいた後、女将さんは野菜畑を案内してくれました。農家民宿は宿泊だけでなく農業体験もできる宿泊施設です。季節によって体験が異なりますが、今回は夏野菜を摘み取りました。澄んだ空気を吸いながら、トマト、茄子、胡瓜などのみずみずしい野菜を収穫しました。摘み取った野菜を持って帰り、それを食せることは、都会人の私にはとても楽しい経験でした。

短い時間でしたが、中南ご夫妻の温かさや笑顔のおかげで、十津

川村への旅行はいつまでもいい思い出として残るでしょう。十津川村の美しい自然の中で美味しい和食をいただいて、地元の人の生活と触れ合うことができました。

日本でしかできない体験をしたい方は、是非日本人のおもてなしを感じられる農家民宿で宿泊体験はいかがでしょう。

〒637-1221 奈良県吉野郡十津川村内野 198

詳しくは：[homepage](#)

予約方法：[KUMANO TRAVEL](#)



キリダス KIRIDAS

日本一広い村である十津川村は96%が森林で、林業は村の重要な産業です。

平成23年の大型台風で甚大な被害を受けたことをきっかけに、十津川村は林業再生に取り組みました。「山を守ることは、山の民の責務」という考えに基づいて、持続可能な林業を発展しています。林業の6次産業化にも力を入れています。

6次産業化とは？

農林漁業者が林業や農業の生産（1次産業）だけでなく、加工（2次産業）と販売、流通（3次産業）も取り組み、付加価値を付け、農山漁村を活性化する仕組みのことです。十津川村式6次産業化についてはこちら：

<https://www.totsukawaforestry.jp/>

その林業再生の取り組みの一環として2017年にオープンしたのが、KIRIDAS（キリダス）です。

KIRIDASは、木を「伐り出す」という言葉に由来し、十津川村の木材で作った手作りの木工品や家具を展示、販売する施設です。

KIRIDASは山に囲まれ、鮮やかな白い建物は緑の山と美しいコントラストをなします。そばにある建物は工場です。KIRIDAS運営者の一人である中山さんと話しました。

建物は十津川村から借りていて、三人で共同運営している、と中山さん。中山さんは関東のご出身で、十津川村の求人広告をきっかけに、家具を作るために十津川村に移住しました。家具作りの経験はありませんで

したが、十津川村の職人から学ばれたとのこと。

KIRIDASで作っている家具には3つのシリーズがあります。

「KIRIDAS ORIGINAL」は、KIRIDASの職人がデザインした家具です。

「TOTSUKAWA LIVING」は、家具デザイナーの岩倉榮利氏がデザインした家具です。

そして、お客さんの注文に応じて作るオーダーメイド家具があります。

すべての家具は十津川産のスギやヒノキで作られています。スギ、ヒノキはとても心地よい芳香を放ちます。

KIRIDASの家具は、スギやヒノキの独特の木目がきれいです。洗練されたデザインでエレガントな家具です。あたたかく居心地の良いインテリアを作りたい方におすすめです。

食器やおもちゃなどの手作りの木工品も販売されているので、十津川村ならではの土産を買いたい方は、是非KIRIDASに行ってください。

イベントについて

KIRIDASでは、随時イベントやワークショップも行っています。十津川村公園（都市部に十津川村の木で創った木製遊具による期間限定の公園を開園する「ポップアップ公園」）や十津川の森ウッドフェスタやクリスマスリースづくりなど。イベントでは、十津川の木に触れることができます。子供向けの十津川の木で作った遊具もあります。詳しくはこちら：

<https://www.totsukawaforestry.jp/projects/park.html>

KIRIDASは、カフェも併設しています。訪れた時はカフェの定休日でしたが、土日にはおいしい飲み物とホットサンドイッチが提供されているので、木工品を見てから、KIRIDASのおしゃれなカフェでリラックスマしてははいかがでしょうか。

〒637-1214 奈良県吉野郡十津川村山崎 278

営業時間：11:00-17:00 土・日

詳しくは：[homepage](#)

ドニ＝ラロック・ヴェロニク

奈の良とは

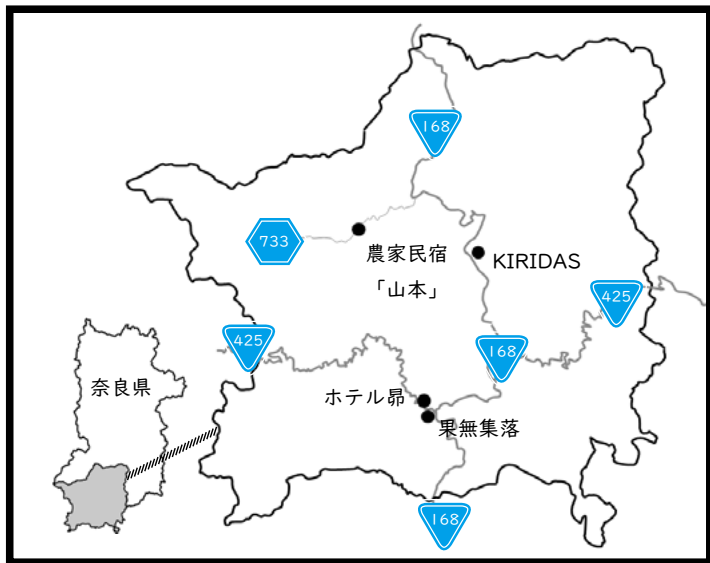
こんにちは。

私たちは奈良県国際課に勤務する国際交流員です。

奈良県と海外の交流を深める架け橋となるべく、日々、国際交流業務に従事しています。『奈の良』は、外国人の目線で見た奈良県の魅力を県民の方々や外国から来られたお客様に紹介するため、私たちが奈良県で見つけた魅力や面白いことについて自ら取材し、記事にしたものです。本誌が奈良県に興味を持つきっかけや外国人が感じる奈良の魅力を発掘する手がかりとなれば嬉しく思います。



十津川村



Special Thanks

今回の取材にあたり御協力いただいた十津川村役場、ホテル昴、農家民宿「山本」、KIRIDAS、十津川村の方々にお礼申し上げます。

『奈の良』

発行元：奈良県知事公室国際課

発行：令和2年2月

本誌に関するご意見、ご質問等はこちらへご連絡ください。

〒630-8501 奈良市登大路町30 奈良県知事公室国際課

TEL：0742-27-8477

FAX：0742-22-1260

編集後記

呉 春蘭

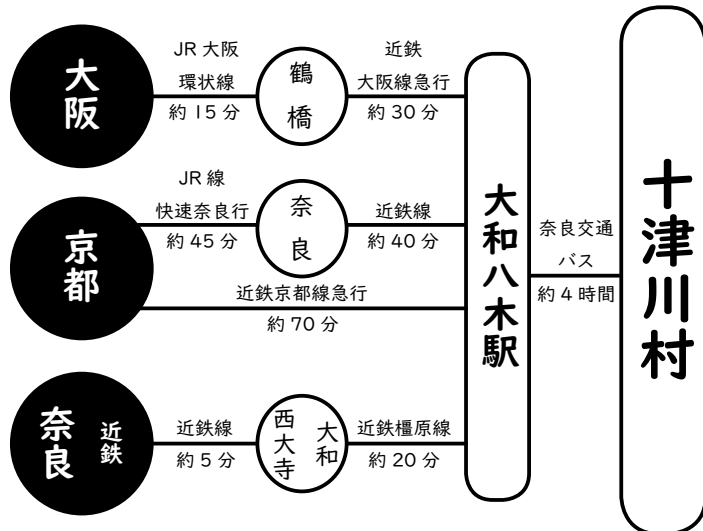
インタビューで触れ合った人々のように、地元を愛し、地域の活性化に尽力されている人々のおかげで、十津川村は「日本で最も美しい村」連合に加盟することができ、また、美しい風景や優しいおもてなしの心で、たくさんの方々を魅了する地になったのではないのでしょうか？

ドニ=ラロック・ヴェロニク

奈良県に住む前に知らなかった十津川村は趣がある場所です。現地の人と交流できて、十津川村の人の生活に触れることもできて、嬉しかったです。次は奈良県の世界遺産の1つである十津川村を横断する熊野古道を歩きたいと思います。その時も、きっと農家民宿に泊まります。

アクセス

電車を利用する場合



車を利用する場合

大阪から：約2時間 20分（168一般道路利用）

京都から：約3時間（168一般道路利用）

奈良から：約2時間 10分（168一般道路利用）